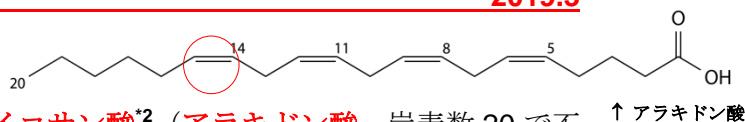


感染対策の基礎知識

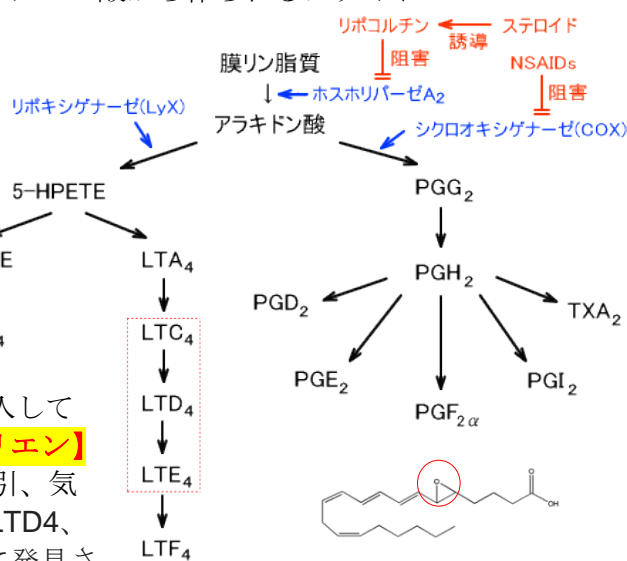
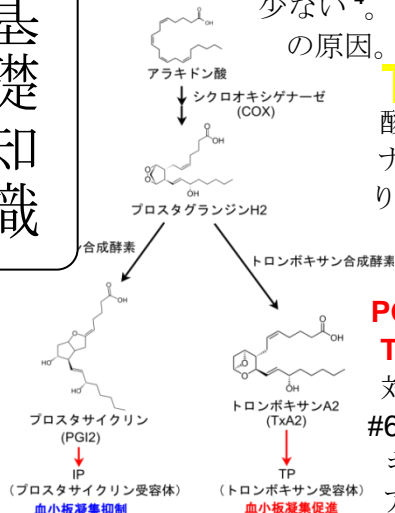
2019.3

二重結合を持たない)。イコサノイドは**イコサン酸**² (**アラキドン酸**、炭素数 20 で不飽和結合 4 基とカルボキシ基を持つカルボン酸) を骨格に持つ生理活性物質で、脂肪酸のメチル末端 (上図の左端、最後なのでギリシャ語の ω 位) から **6 番目の炭素-炭素結合 (上図赤丸)** に 2 重結合を持つ $\omega 6$ 脂肪酸 (=n-6 脂肪酸)。ヒトは $\omega 3$ と $\omega 6$ 脂肪酸を合成できないので $\omega 6$ のリノール酸と $\omega 3$ の α リノレン酸を食餌として摂取する必要がある (**必須脂肪酸**)³。通常の食事では不足ないが、IVH では必ず脂肪製剤を加える (全カロリーの 1~2%)。 $\omega 6$ は植物油に $\omega 3$ は魚油に多く含まれ、鬱病では $\omega 3$ が少ない⁴。 $\omega 6$ リノール酸の過剰摂取は大腸癌、アレルギー、心血管障害の原因。 $\omega 3$ の摂取は癌、産後鬱病、攻撃性の減少の効果がある。



【ロイコトリエン】

【NSAIDs】はシクロオキシゲナーゼ:COXを阻害、アラキドン酸からプロスタグラン
 ディン:PGへの変換を阻止して抗炎症作用を発揮。PGには胃粘膜保護作用や腎血管
 拡張作用もあり、この働きの阻害による副作用もある。



#181

*IUPAC(International union of pure & applied chemistry)の名称がエイコサンからイコサンに変更されたのでイコサノイドを使用。^{*2} 飽和脂肪酸はアラキジン酸。^{*3} 植物にアラキドン酸は含まれない。ヒトは植物のリノール酸からアラキドン酸を合成できるが、猫などではできないので動物性脂肪が必要。^{*4} ω 3 摂取は DHA、EPA を増加させ、鬱病の深刻さと赤血球中のリン脂質の ω 3/ ω 6 比率の間には有意な相関がみられた。